

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年11月2日(2017.11.2)

【公表番号】特表2016-536347(P2016-536347A)

【公表日】平成28年11月24日(2016.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2016-065

【出願番号】特願2016-544354(P2016-544354)

【国際特許分類】

C 07 K	7/06	(2006.01)
C 07 K	7/08	(2006.01)
A 61 K	38/00	(2006.01)
A 61 P	29/00	(2006.01)
A 61 P	1/00	(2006.01)
A 61 P	1/04	(2006.01)
A 61 P	1/18	(2006.01)
A 61 P	11/04	(2006.01)
A 61 P	1/16	(2006.01)
A 61 P	11/06	(2006.01)
A 61 P	37/08	(2006.01)
A 61 P	37/02	(2006.01)
A 61 P	9/10	(2006.01)
A 61 P	43/00	(2006.01)
A 61 P	11/02	(2006.01)
A 61 P	31/04	(2006.01)
A 61 P	39/02	(2006.01)
A 61 P	7/00	(2006.01)
A 61 P	35/00	(2006.01)
A 61 P	15/06	(2006.01)
A 61 P	15/08	(2006.01)
A 61 P	15/02	(2006.01)
A 61 P	13/08	(2006.01)
A 61 P	13/02	(2006.01)
A 61 P	11/08	(2006.01)
A 61 P	11/00	(2006.01)
A 61 P	31/16	(2006.01)
A 61 P	31/12	(2006.01)
A 61 P	31/22	(2006.01)
A 61 P	31/18	(2006.01)
A 61 P	31/20	(2006.01)
A 61 P	31/14	(2006.01)
A 61 P	31/10	(2006.01)
A 61 P	33/06	(2006.01)
A 61 P	33/04	(2006.01)
A 61 P	33/00	(2006.01)
A 61 P	9/00	(2006.01)
A 61 P	7/02	(2006.01)
A 61 P	19/02	(2006.01)
A 61 P	1/14	(2006.01)
A 61 P	11/16	(2006.01)

A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/04	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/06	(2006.01)
A 6 1 P	1/02	(2006.01)
A 6 1 P	21/04	(2006.01)
A 6 1 P	5/14	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	7/04	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	14/52	(2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K	7/06	Z N A
C 0 7 K	7/08	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	1/18	
A 6 1 P	11/04	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	11/02	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	39/02	
A 6 1 P	7/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	15/06	
A 6 1 P	15/08	
A 6 1 P	15/02	
A 6 1 P	13/08	
A 6 1 P	13/02	
A 6 1 P	11/08	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	31/16	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	31/22	
A 6 1 P	31/18	
A 6 1 P	31/20	
A 6 1 P	31/14	
A 6 1 P	31/10	
A 6 1 P	33/06	
A 6 1 P	33/04	
A 6 1 P	33/00	

A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	7/02	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	1/14	
A 6 1 P	11/16	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	25/04	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	19/06	
A 6 1 P	1/02	
A 6 1 P	21/04	
A 6 1 P	5/14	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	9/10	1 0 3
A 6 1 P	7/04	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
C 1 2 N	15/00	A
C 0 7 K	14/52	

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月20日(2017.9.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

G l y - A r g - G l y - P h e - S e r - A r g - G l y - G l y - G l y - A s p
(配列番号12)のアミノ酸残基配列もしくはその医薬上許容される塩；または

配列番号12と少なくとも80%の相同性を有するアミノ酸残基配列もしくはその医薬上許容される塩を含む単離ペプチドであって、

前記ペプチドの長さは10～30アミノ酸残基である、ペプチド。

【請求項2】

前記ペプチドは、C I R P の1つ以上の生物活性を阻害する、請求項1に記載のペプチド。

【請求項3】

前記ペプチドは、M D 2 細胞表面受容体に結合するC I R P を阻害する、請求項1または2に記載のペプチド。

【請求項4】

前記ペプチドは、T L R 4 / M D 2 複合体に結合するC I R P を阻害する、請求項1～3のいずれか一項に記載のペプチド。

【請求項5】

前記ペプチドは、

G l y - G l y - A r g - G l y - A r g - G l y - A r g - G l y - P h e - S e r - A r g - G l y - G l y - G l y - A s p (配列番号13)のアミノ酸残基配列もしく

はその医薬上許容される塩
を含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のペプチド。

【請求項 6】

前記ペプチドは、
G l y - A r g - G l y - P h e - S e r - A r g - G l y - G l y - G l y - A s p
- A r g - G l y - T y r - G l y - G l y (配列番号 14) のアミノ酸残基配列もしく
はその医薬上許容される塩

を含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のペプチド。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の少なくとも 1 つのペプチド；および
医薬上許容される担体もしくは希釈剤
を含む医薬組成物。

【請求項 8】

炎症状態に罹患している被験者を治療するための医薬組成物であって、請求項 1 ~ 6 の
いずれか一項に記載の少なくとも 1 つのペプチドを含む、医薬組成物。

【請求項 9】

前記炎症性状態は、急性炎症性状態である、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記炎症性状態は、虫垂炎、消化性潰瘍、胃潰瘍および十二指腸潰瘍、腹膜炎、脾炎、
クローン病、潰瘍性大腸炎、イレウス、喉頭蓋炎、アカラシア、胆管炎、胆囊炎、肝炎、
ウィップル病、喘息、アレルギー、アナフィラキシーショック、免疫複合体病、臓器虚血
- 再灌流障害、臓器壊死、枯草熱、敗血症、敗血症 - 敗血症性ショック、腐敗症、内毒素
性ショック、悪液質、異常高熱、好酸球性肉芽腫、肉芽腫症、サルコイドーシス、敗血性
流産、副睾丸炎、腫炎、前立腺炎、尿道炎、気管支炎、肺気腫、鼻炎、肺炎、珪性肺塵、
肺胞炎、気管支梢炎、咽頭炎、胸膜炎、静脈洞炎、インフルエンザ、R S ウィルス感染症、
ヘルペス感染症、H I V 感染症、B 型肝炎ウイルス感染症、C 型肝炎ウイルス感染症、
播種性菌血症、 Dengue 熱、カンジダ症、マラリア、フィラリア症、アメーバ症、包虫囊胞、
脈管炎、血管炎、心内膜炎、動脈炎、アテローム性動脈硬化症、血栓性静脈炎、心嚢炎、
心筋炎、虚血、結節性動脈周囲炎、リウマチ熱、セリアック病、成人呼吸窮迫症候群、
慢性閉塞性肺疾患、髄膜炎、脳炎、神経炎、神経痛、脊髄損傷、麻痺、ブドウ膜炎、関節炎、
関節痛、骨髄炎、筋膜炎、ページエット病、痛風、歯周病、関節炎、滑膜炎、重症筋
無力症、甲状腺炎、全身性エリテマトーデス、同種移植拒絶反応、移植片対宿主病、グッ
ドパスチャー症候群、ベーチエット症候群、強直性脊椎炎、ベルガ - 病、ライター症候群、
ホジキン病、乾癬、心筋梗塞、脳卒中、炎症性腸疾患、壞死性腸炎、出血性ショックお
よび外傷性出血からなる群から選択される、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

前記炎症性状態は、出血性ショックおよび敗血症性ショックからなる群から選択される
、請求項 8 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

前記被験者はヒトである、請求項 8 ~ 11 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記少なくとも 1 つのペプチドは、炎症促進性サイトカインの放出を阻害する、請求項
8 ~ 12 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

前記少なくとも 1 つのペプチドは、T N F - の放出を阻害する、請求項 8 ~ 12 のい
ずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

C I R P の 1 つ以上の生物活性を阻害するための組成物であって：

請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の少なくとも 1 つのペプチドを含む、組成物。

【請求項 16】

C I R P の前記生物活性は、C I R P 媒介性シグナル伝達である、請求項1 5に記載の組成物。

【請求項 1 7】

C I R P の前記生物活性は、C I R P 媒介性炎症である、請求項1 5または1 6に記載の組成物。

【請求項 1 8】

C I R P の前記生物活性は、炎症促進性サイトカインのC I R P 媒介性放出である、請求項1 5 ~ 1 7のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 1 9】

C I R P の前記生物活性は、T N F - のC I R P 媒介性放出である、請求項1 5 ~ 1 7のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 2 0】

皮膚創傷に罹患している被験者を治療するための医薬組成物であって：

請求項1 ~ 6のいずれか一項に記載の少なくとも1つのペプチドを含む、医薬組成物。

【請求項 2 1】

前記皮膚創傷は、慢性皮膚創傷である、請求項2 0に記載の医薬組成物。

【請求項 2 2】

前記皮膚創傷は、糖尿病性潰瘍である、請求項2 0に記載の医薬組成物。

【請求項 2 3】

前記皮膚創傷は、褥瘡である、請求項2 0に記載の医薬組成物。